

# はくば SPF 豚農場だより

第 11 号 発行日 平成 24 年 3 月 7 日 発行者 全農長野県本部 本部長 埋橋 茂人 大北農業協同組合 組合長 西山 隆芳  
北安曇郡白馬村大字北城 15917-12 TEL0261-72-2716 <http://www.hakubanobuta.com/>



全農長野



# ごあいさつ

早春の候、皆様におかれましてご健勝のこととお喜び申し上げます。  
また、平素より「はくば SPF 豚農場」の事業運営につきまして、格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

事業者としましては、臭気調査結果及び住民報告会のご意見等により、堆肥舎脱臭装置の臭気軽減効果はある程度認められるものの、住人の皆様から、未だ容認できるレベルまでの軽減がされていないとの指摘を受け、平成 23 年 11 月中旬より堆肥の一部搬出についての取り組みを始め、現在も継続しています。

尚、臭気状況については、今後も環境ウォッチャーの方々と連携の上、継続して情報収集に努め、対策の強化を図る所存であります。

事業者として、引き続き一丸となって臭気対策に取り組んで参りますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

発行日 平成 24 年 3 月 7 日  
全農長野県本部 本部長 埋橋 茂人  
大北農業協同組合 組合長 西山 隆芳



## 1. 平成 22 年度から 23 年度の「臭気調査」について

### ■ 臭気対策プロジェクトチーム(はくばSPF豚畜産環境対策協議会)による5回の臭気調査が行なわれました。

調査にはすべての調査場所に事業者が立ち会い、農場内の作業状況を逐一調査担当者へ報告し、作業内容との整合性を検証しました。



第1回臭気調査推進会議を開催  
H22. 6/14(月) 16:00 ~ JA大北白馬支所

#### ○臭気調査実施箇所

##### 白馬村

立の間、西通、東通

##### 小谷村

川内、白馬大池、梨平、滝の平、坪の沢

※立の間・東通・川内・梨平については 24 時間調査を実施

#### ○臭気調査の実施状況

回数	実施日
第1回	平成22年6月14日(月)~15日(火)
第2回	平成22年7月12日(月)~13日(火)
第3回	平成22年8月31日(火)~9月1日(水)
第4回	平成22年10月18日(月)~19日(火)
第5回	平成23年7月27日(水)~28日(木)



第5回臭気調査 午前5時30分からの打合せ  
H23. 7/28(月) 農場進入路側本部テント前

## 2. 平成23年度実施した環境対策について

### 1. 基本的な施設管理の徹底に取り組んでいます。

#### ■ 清掃の徹底・丁寧な作業・作業者の環境対策に関する意識向上に努めました

- ① 清掃マニュアルを策定し、それに基づく作業を行い、チェックする体制を強化しました。
- ② 作業者に対しては、意識を向上させ、課題の共有化を図るために、定期的に行なわれる環境ウォッチャー会議への出席と研修を行ないました。

## 2. 堆肥化作業に関する臭気軽減対策を継続しています

### ① 清掃の徹底、丁寧な作業

環境対策マニュアル、清掃マニュアルに基づく作業を行ないました。

### ② 糞尿分離の徹底

装置のメンテナンスを強化するとともに、糞尿分離が十分に行なわれるよう、こまめな機械調整を行ないました。

### ③ 消化性の高い飼料の使用

消化性の高い飼料について継続して給与し、糞尿の減少を図っています。

### ④ 水分調整剤(もみ殻)の確保

管内の粕殻を確保するとともに、不足しないよう外からの手当てを行ないました。

### ⑤ 堆肥化促進資材の導入

微生物資材を活用した堆肥化促進を行なっています。

## 3. 堆肥化施設の改修と脱臭装置の設置を行ないました

### ■ 堆肥舎の臭気軽減

① 平成23年6月13日より堆肥舎脱臭装置の稼働を開始しました。



② 平成23年4月に、堆肥舎シャッターの改修を行ないました。



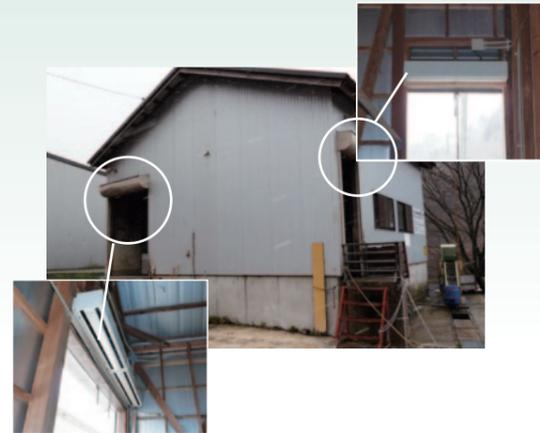
## 4. 豚臭の軽減に継続して取り組んでいます

### ① 清掃の徹底、丁寧な作業

環境対策マニュアル、清掃マニュアルに基づく作業を行ないました。

### ② 出荷待機場の臭気対策

平成23年3月に入口、出荷豚待機場出口にエアカーテンを導入しました。



### ③ 脱臭装置の改修

平成23年4月に、肥育舎B棟北側の炭脱臭装置を新型脱臭装置に改修しました。



## 3. 事業者により「はくば SPF 豚畜産環境対策各主体の役割」(フローチャート)に基づき、住民報告会を開催しました。

### ■ 住民の声に基づいた誠意ある対応を強く求められました。



平成23年8月8日 滝の平・坪の沢集落基幹センター



平成23年8月9日 梨平集落基幹センター

## 4. 第13回はくば SPF 豚畜産環境対策協議会が開催されました。

### 臭気調査結果についての報告が行なわれました。

平成 23 年 11 月 16 日に、小谷村役場で開催された「はくば SPF 豚畜産環境対策協議会」より過去 5 回の臭気調査に係る結果報告書が示され、臭気の主たる原因の堆肥臭について、堆肥搬出等の指摘を頂きました。



協議会長より西山組合長へ調査結果報告書が手渡されました。

## 5. 事業者より、現在取り組まれている内容について

### 堆肥搬出に伴う新たな堆肥舎建設の検討を開始しています。

- 「環境ウォッチャー会議」での検討と、事業者による専門家チームでの検討を同時に始めています。



定期的に行われている「環境ウォッチャー会議」



自主臭気測定を継続して行っています。  
(1月11日、農場南側風下敷地境界測定)

### 堆肥の一部搬出に取り組んでいます。

- 堆肥搬出について

協議会の臭気調査結果報告書に基づき、平成 23 年 11 月中旬より堆肥の一部搬出についての取り組みを始めており、現在も継続しています。

尚、今後も環境ウォッチャーの方々と連携の上、地域の臭気情報収集に努め、迅速な対応策の強化に努めます。

### 「臭気調査結果報告書」—まとめ— は、以下の通りです。

- ① 6 段階臭気強度表示法による臭気の観測回数・質の把握、悪臭物質の濃度測定などを通じて、以下の結果を得た。
  - ア、堆肥臭が全体の 8 割近くを占めている。豚臭については、肥育豚の出荷作業時等に数回観測されているが、全体的に占める割合は小さい。
  - イ、脱臭装置設置等の対策後も、前年同期(第 2 回調査)と比べ臭気の観測回数が減少しているものの、引き続き、臭気強度 2 の堆肥臭が観測されている。
  - ウ、作業をしていない夜間にも堆肥臭が観測されており、夜間の臭気に占める堆肥臭の割合は、8 割近くとなっている。
  - エ、対策を実施した第 5 回の臭気調査において、臭気強度 3 が観測された。
  - オ、臭気は、川に沿って南北に伸びる谷間状の地形の影響を受けた風下で観測され、梅雨時から夏場の曇りまたは雨のときに比較的多く観測されている、周辺地域での臭気は、天候や風向などの気象条件の影響が大きい。

以上から、SPF 農場に起因する臭気は、出荷時にも発生しているが、主原因は堆肥舎にあると考えられる。

- ② 昨年 4 月に堆肥舎の攪拌機が故障したため、4 月初旬～6 月初旬は堆肥を近隣市町村や他地域に搬出した。全量搬出した梅雨時を含めた期間中は、臭気に関する住民からの苦情は少なく、1 年に渡る本調査結果と同様の結果を得た。
- ③ ついては、事業者は住民から理解が得られるよう、堆肥を外部に搬出するなど更なる環境対策を進めていくことが肝要である。平成 17 年度から臭気対策プロジェクトチームが主体となって実施してきた臭気調査については、今回で終了とする。今後事業者は農場内でのアンモニア測定等を継続するとともに、各集落の状況把握に努め、住民が納得する環境づくりに向け努力する必要がある。

臭気に関するご意見・お問い合わせ先番号

☎ 080-1330-0974

上記番号がつかないときは ☎ 0261-22-1842 (JA 大北本所営農部)